

治世の能臣、乱世の姦雄

ある日曹操は、人物鑑定家として名高い許劭という人物に会いに行き、自分をどう評価するかを尋ねました。重い口を開いた許劭は、「あなたは平和な世では有能な臣下となるでしょう、乱世では平然と悪をなし成功するでしょう」と断じました。

その予言通り、のちに天下が乱れると曹操はぐんぐんと頭角を現し、魏という大國を築き上げます。

成功者の評価はいつも賛否両論。乱世の姦雄と言われた男だからこそ、短い間にあれほどの強國を創り上げたのです。

